

Life and Work 2020

LIFE STYLE BOOK FOR WOMEN



いつだって、私らしく

造船業界で働く、女性16人の物語

Presented by nichizokyo

いつだって、私たち

造船業界で働く、女性16人の物語

「造船=力仕事」ではない。働く楽しさは、たくさんある

穏やかに揺れる海の上に、どっしりと浮かぶ巨大な船。米やパン、薬、それにたくさんの人を乗せて、世界各国を旅しています。そう、船は私たちの生活を支える大事なインフラ。大波や嵐に見舞われようとも、そんなことはものともせず、今日も力強く大海原を突き進んでいるのです。

さて、みなさんは「造船」と聞いてどんなことを思い浮かべますか？屈強な男たちが、汗水垂らしながら働く現場。そんなイメージを持っている人が多いかもしれません。確かに、それも1つの要素。でも、実は力仕事のほかにもいろんな仕事があって、いろんな人たちが活躍している世界なのです。

叶えたい夢がある。支えたい家族がいる。未来に向かう船旅へ

では、実際にどんな人たちが働いているか。造船関連業で働く「女性」にスポットライトを当てる「Life and Work」は、前回の大分県に続き、今年も九州を訪ねることにしました。舞台は、大島造船所の本社・大島工場（長崎県西海市）と、ジャパンマリンユナイテッドの有明事業所（熊本県玉名郡）。新卒でこの世界に飛び込んだ20代から、その道20年を超える60代のベテランまで。16人の女性に会ってきました。

「海外とつながれる造船に興味があった」「この仕事が、私に向いてるんです」「息子のために、いつもがんばって働いてますよ」。目を輝かせながら、真っ直ぐ前を見る女性たち。これから始まるのは、そんな頼もしい女性たちの物語です。ページをめくってもらえば、彼女たちの熱い思いに、飾らない等身大の姿に、きっと胸を打たれることでしょう。

Writing. Kai Kondo photo. Motonari Sakai

PAGE

- 04 海外とつながれる仕事がしたい / 施工管理
- 05 美容・アパレルから転身。30代で見つけた理想の仕事 / 溶接
- 06 防熱材を貼る仕事は「パズルみたいなんです」 / 配管
「大変な仕事でも、家族のためならがんばれる」 / 溶接
- 07 佐世保市・西海市について、協同組合トップに聞く、“女性にやさしい”現場の今
- 08 手に職つけて、長く働ける / 切断図面マーキング
- 09 “機械”と“頭”を使う仕事「私に向いている」 / NC切断
- 10 ベテランから若手まで。4人の女性が活躍中 / アイトレーサー
- 11 仕事もオシャレも息子のために働く20代ママ / 塗装
- 12 「クレーン1本でやってみるか」社長の一言に背中押され、クレーン運転士に / クレーン運転士
- 13 原動力は「モノづくりが楽しい」 / 切断
- 14 年齢は関係ない。資格を活かして、活躍する場を / 仕分け
- 15 長洲町・玉名市について、協力会トップに聞く、“女性にやさしい”現場の今

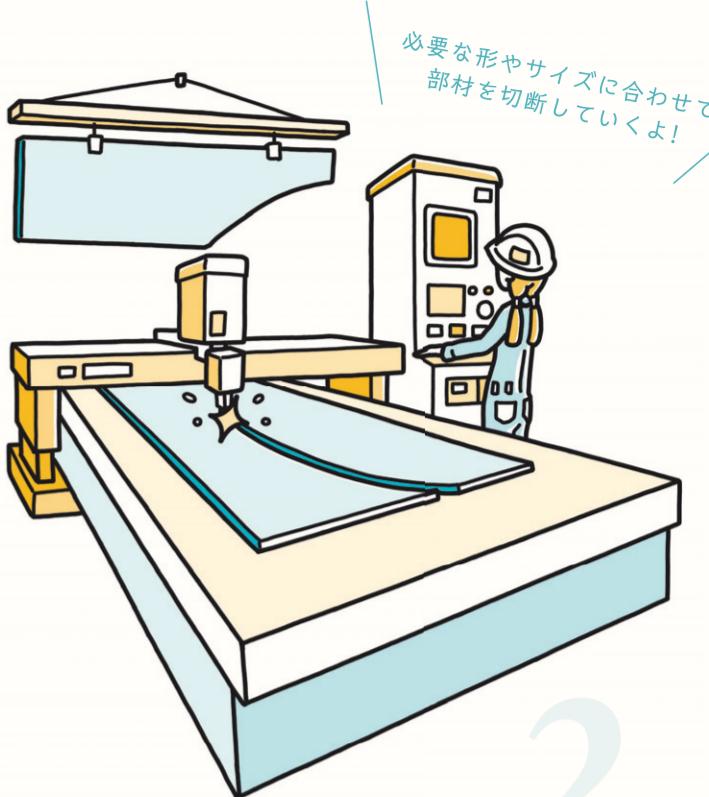
造船業の主なお仕事

打ち合わせで決まった内容を
CADを使って完成図を作り出し、
各担当部門にデータを渡します！



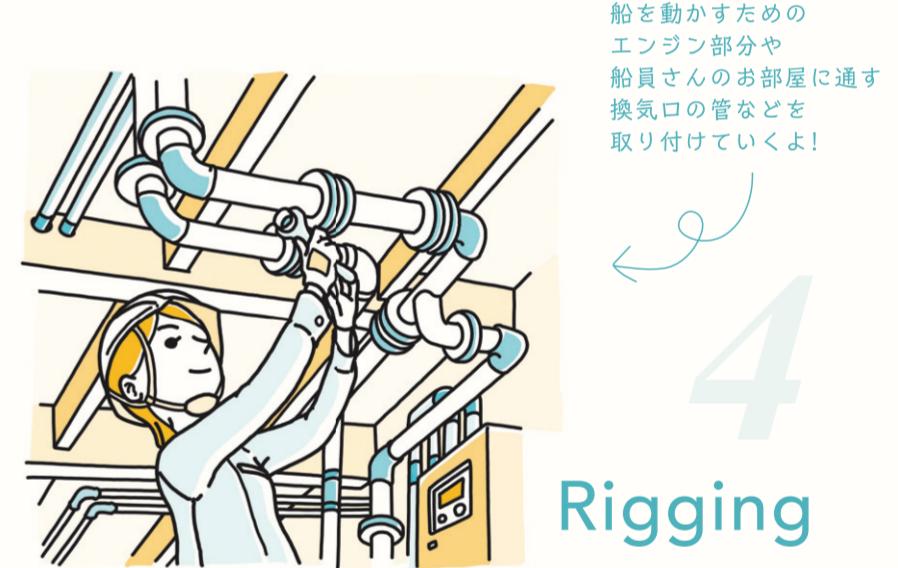
1 Design 設計

環境や時代のニーズを考慮して、
お客様に満足いただけるよう船
の“形”や“構造”を提案します。



2 Cutting 切断

作られたCADデータを元に、NC切断機を使用して、鉄板から
船の部品を切り出します。



3 Welding ブロック溶接

さまざまな方法を用いて、部品と部品を繋いでいきます。
溶接は船舶建造において欠かすことのできない作業です。



5 Painting 塗装

装飾や保護のために材料の表面に塗料し、海藻
類などが船底に付いて汚すのを防いだり、海水
による錆やカビの腐食を防ぎます。



6 Launch 進水

船の誕生を記念して海に放って試運転を行い、
設計通りに走るかなどの性能の確認をします。



フォークリフトは入社後に資格を取得！今では軽やかに乗りこなす。



大きなトラックの運転もお手の物！狭い道を縦横無尽に走り回る。



造船業界 “夢”を叶えるだから私たち ここを選んだ

造船業界で

「海外とつながれ
る仕事がしたい」

ジム、ツーリング、
買い物。プライベ



美容・アパレルから
転身。30代で見つけ
た理想の仕事

1. 長岡さんの仕事は、船体 ブロックの溶接。機械を 使って、丁寧に溶接して いく。
2. 周りの社員は協力的で、 「みんなやさしくて、手伝っ てくれるんです」
3. 大事にしていることは、 「どんなときも焦らない」。 自分のスタイルで働く 楽しさがある。



有限会社浜岡船舶工業
長岡雪乃さん（30代）



「2人だからこそがんばれるし、毎日楽しい」。そう笑って話す長崎船舶装備の2人は、現場に配属された初の女性社員で、2019年春に新卒で入社したばかり。永野さんは大学で英語と中国語を専攻。「海外とつながれる仕事がしたい」と造船業界に飛び込んだそう。江口さんは採用説明会に参加し、「いい人たちで働きやすそう。人間関係って大事じゃないですか」と入社を決意。そんな2人の仕事は、船の内装工事の施工管理。資材を揃えて運んだり、現場の大工に指示を出したり、工事全体を管理する“現場監督”です。

「重いものを持ち上げたり、大きなトラックを運転したり、体を目一杯動かす毎日ですが、永野さんは『平日は仕事終わりにジムに、平日はバイクでツーリングに出かけています』とプライベートもとてもアクティブ。一方、江口さんは友人とのんびり過ごすことが多いそう。対照的な2人ですが、休日は一緒に買い物に出かけたりと、私生活でも息はピツタリ！」

「将来的には本社の海外事業部で働きたい」(永野さん)と、2人の視線の先には大きな夢が広がっています。今春には新たに高卒の女性社員が入社し、心強い仲間が増えました。若いパワーが、造船業界に明るい光を照らしています。

佐世保市ってどんなところ？

長崎県では長崎市に次いで2番目の都市。人口は約24,600人。かつて旧海軍四軍港(横須賀・呉・佐世保・舞鶴)の一つとして鎮守府が置かれ、現代でも自衛隊や在日米軍の基地として伝統を受け継ぐ、造船・国防のまちとして知られる。

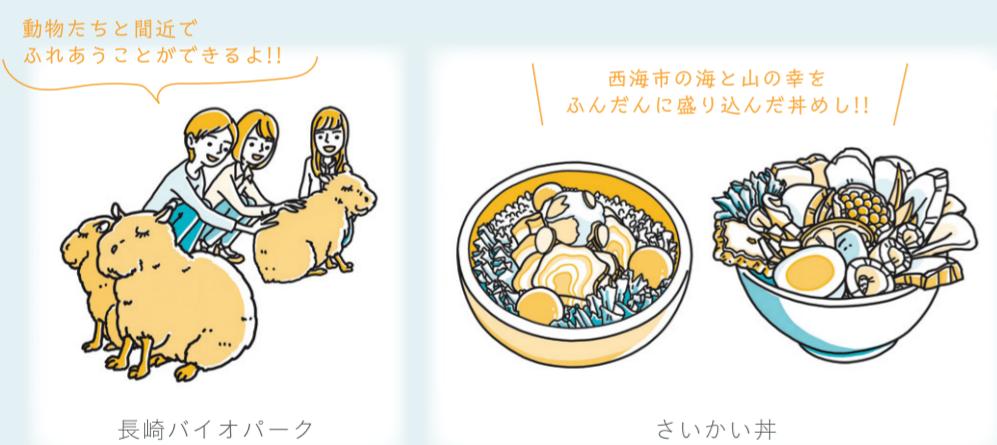
 博多から約1時間40分 / 長崎市から約1時間20分 / 西海市から約50分



西海市ってどんなところ？

“西の海”と書いて“さいかい”と読むように、日本本土の最西端にほど近く、5つのまちからなっています。人口は約28,000人。いきいきとした外海と穏やかな内海の異なる表情を持つ海に囲まれており、そこで育った野菜や魚が採れるだけでなく、「西海国立公園」など自然公園に指定される公園が3つもあります。

 博多から約2時間 / 長崎市から約1時間 / 佐世保市から約50分



INTERVIEW

協同組合トップに聞く、“女性にやさしい”職場の今

トイレ、更衣室は完備。
力仕事だけではない。

女性の働く環境は、以前に比べればずいぶん変わりましたよ。例えば、女性専用トイレや更衣室。当たり前に聞こえるかもしれませんが、長い間圧倒的に男性が多い職場だったここでは、大きな前進なんです。私のような上の世代の意識も、今どんどん変わってきてるんです。

女性は手先が器用で、仕事も丁寧です。塗装や溶接などは、細かいところまで驚くほどきれいに仕上げてくれます。造船の仕事は、力仕事だけではありません。女性に合う仕事はたくさんあって、そう

いう仕事を任せれば抜群なんです。

安心して、夢をもって働くよう
全力でサポートします！

技術を磨いて一人前になれば、いろんな可能性が広がります。そこに男女の差はありません。もちろん、仕事ですから楽なことばかりではありませんよ。大事なのは、周囲のサポート。周りの人が、温かく見守る必要があります。そのためにも、安心して、夢をもって働く環境をどうやってつくっていくか。各社で協力しながら、今後も働きやすい環境をどんどん整えていきたいですね。



INTERVIEWEE

山外工業株式会社 代表取締役
大造協力事業協同組合 理事長
山外 正人さん



わず見とれてしまうほどのスピードでテキパキとこなす武藤世史さん(50代)

防熱材を貼る仕事は「パズルみたいなんです」

心の中で歌を歌いながら、リズムよくその横で「うん、うん」と頷く松本さん。造船業界で溶接の仕事をしていた義母に憧れ、この世界に飛び込みました。ある日、ふと目にした「男女活躍中」と書かれた求人広告。「女性でも働けるの！」と飛びつくように入社を決めました。

武藤さんが「仕事がめちゃくちゃ早いんですよ」と言うと、照れ笑いを浮かべる松本さん。早く仕上げるコツを聞くと、「心の中でいつも歌を歌っています」と驚きの答



本さんが心の中でよく歌っているのは、GLAYの曲だそう。



株式会社日本冷熱
松本光子さん(40代)

「大変な仕事でも、
家族のためなら
がんばれる」

デニム生地のおしゃれな
作業着が印象的な日電の橋
田さん。小柄な体格を生かし
て船体プロックの中にスッと
入り込み、器用な手つきで溶
接していきます。

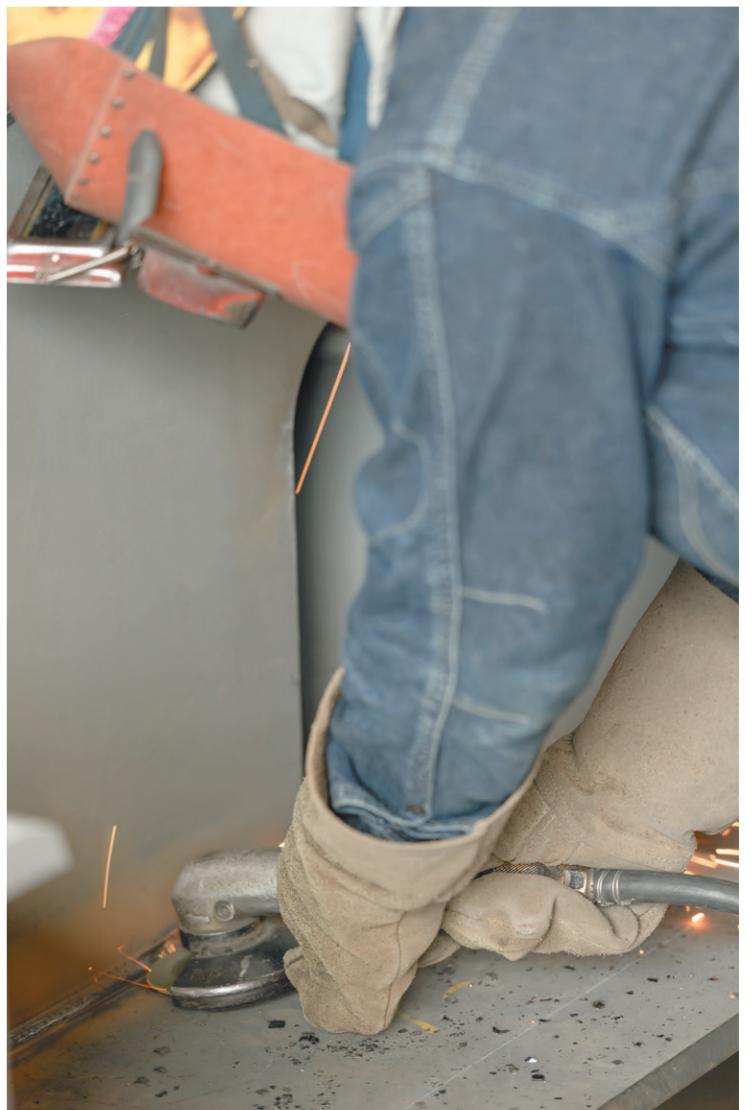
入社のきっかけは、同じ職
場で働く夫の紹介でした。家
も職場もずっと一緒。「嫌
だっていう人もいるけど、私
はまったくストレスじゃない
んですね」。2人の仲の良さ
が目に浮かんできます。

原動力は、家族の存在だそ
う。18歳と小学5年の子供
はまさに育ち盛り。子供の



女性でも技術をつければ
しっかり稼げます!

将来を考えると、「現場に出れば男性と同じ給料でしっかり稼げる。パートで働くよりも条件は断然いい」というこの仕事は魅力で、だからこそ大変なときもがんばれる。そう力強く話してくれました。



07



土山さんが記したラインや目印に沿って、その後加工していく。



わずかな誤差も許されない。そんな緊張感も、やりがいにつながっている。



私の居場所が、
ここにあつた
ずっと
続けていきたい



手に職をつけて、
長く働ける

女性社長、先輩、家族。
“今”があるのは、
周りのおかげ

鉄板の上を軽やかに動き回しながら、数字や線を書き込んでいく。暗号のような印の数々は、鐵板の切断・加工位置などを示す重要な手がかり。わずかな誤差も許されません。

真剣な表情で手を動かしているのが、入社4年目の土山さん。子育てが一段落し、「手に職をつけて、長く働ける仕事がしたい」と職人の門を叩きました。

スウォルを選んだのは、女性社長の存在が大きかったから。造船には過酷なイメージがあつたそうですが、社長の人に惹かれ「ここでやつてみよう」と決心。子供の都合に合わせて出勤時間を遅くしてもらったり、夜は薄暗い店などいろんな仕事を経験してきましたが、「この仕事はやつてみたら楽しくて」周囲には驚かれていたけどねと充実した様子。



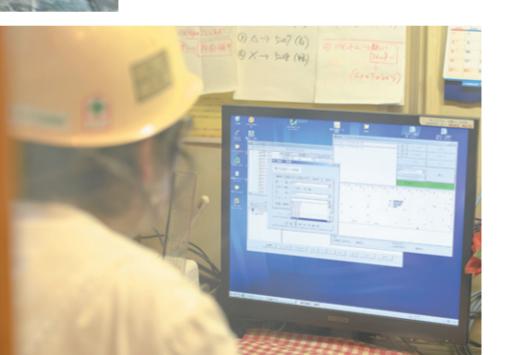
チョークライン(写真右)など
特殊な道具を使いこなす。
足元には「努力の結晶」が。

これまでスバーや飲食店などいろんな仕事を経験してきましたが、「この仕事はやつてみたら楽しくて」周囲には驚かれていたけどねと充実した様子。

休日の楽しみは、地元のサッカーチームに所属する息子たちの試合観戦。「周りの人々に支えられ、仕事もプライベートも一杯楽しんでいます」



株式会社スウォル
土山千春さん(30代)



やりたいことに
挑戦するのが一番!



三矢工業株式会社
小澤紀子さん(30代)

“機械”と
“頭”を使う仕事
「私に向いている」

設計部から送られてきた
図面データをパソコンで
チェックし、必要な情報を
入力すれば、あとは機械が自動
で動いてくれる。製造現場の
仕事と聞くと、溶接や重い
荷物を運ぶ作業をイメージする
人が多いですが、小澤さんの場
合はむしろ“機械”と“頭”を
使う仕事。鐵板をクレーンで運ぶ人、
切断線に沿って運ぶ人、機械をちょ
うどいタイミングで動かす。「一
連の流れが順調に進ん
で運ぶ人、全体の工程を見極
めながら、機械を操作する」
この仕事は私が向いてい
る」とすっかり自分のポジ
ションを確立したようだ。
「性別にとらわれず、自分
のやりたいことをやるの
が一番だと思います」と力
強く語ってくれました。

べテランから若手まで。4人の女性が活躍中

給料よし、ストレスなし！自分のペースで働く

男性の多い造船業界ですが、花谷建設では現在、4人の女性が活躍しています。在籍10年を超える浦部さんと森さん（一人は産休中）。彼女の仕事は、アイトレーサー。ガスで鉄板を自動切断する機械を使いながら、大きな鉄板から大小様々な部材を大量につくる仕事です。

浦部さんが感じるこの仕事をの魅力は、「やっぱり給料が高いこと」。「例えばスーパーでパートで働くよりも、断然いいですよ」と長く働き続ける理由を率直に話してくれました。

「自分のベースで、コツコツやれるのがいいですね」と話す森さん。長くサービス業をしてきたそうですが、ここでは対人関係のストレスを感じることはないそう。

一方、森さんは入社したばかりの新人。機械の操作をはじめ、まだ仕事を必死に覚える日々ですが、先輩2人の背中を追いかねながら、早く人前になりたい」と張り切っています。2歳になった育ち盛りの子供のためにも、ママは懸命に働いています。



どんな形の部材、何個つくるのか。機械の動きをチェックしながら、大量の部材を切り出していく。

それぞれ性格は違うけど、仲はいいんです！



花谷建設株式会社
森内美佐子（50代）／浦部三枝子さん（50代）／森絵梨香さん（30代）



ローラーや刷毛（はけ）を使って、船内を隅々まできれいに塗装する。

「すべては息子のため。そのため一生懸命、楽しく働いています」。10代で出産し、中学一年の息子と暮らす梅崎さん。船の内壁を隙間なく塗装する仕事に打ち込んでいます。女性の少ない現場。でも職場の先輩は、頼れる「よき相談相手」です。思春期の息子もオシャレも息子のために働く20代ママ

子に手を焼くこともあるそうですが、「うちの子はこうだったよ」といつも親身に相談に乗ってくれるんだそう。息子の学校行事や急な体調不良のときも、家族のことを最優先で考えてくれるアツトホームな職場です。それでも、まだ20代。ヘルメットの中はカラフルなヘアで着飾り、ネイルにも派手な装飾が。「こういうの、好きなんですね」。船上でも、ファッショニやオシャレを楽しむ女性が多くいます。



ネイルが大好き！
オシャレは自由に



マルサン船舶工業株式会社
梅崎亜梨沙さん（20代）





「自動溶接機を使ってデータを入力すれば、自動で溶接が可能です。ずいぶん楽になりました」(中島さん)



女性でも活躍できる現場あり！
業界の体制も変わってきてますよ♪



「溶接は奥が深い」と徳永さん。その分、やりがいがあるそう。



有限会社中尾工業
中島真由美さん(50代) / 徳永久仁子さん(60代)

Tamana

玉名エリア

原動力は「モノづくりが楽しい」

中尾工業の徳永さんは入社25年のベテランで、溶接一筋のプロフェッショナル。60歳を過ぎても現役で活躍中です。原動力は、「モノづくりが楽しい」という思い。気温や湿度、風によって仕上がりが微妙に変わつて仕事といふ溶接。一筋縄ではいかず、「奥が深いんです。でもその分、きれいに仕上がる」との達成感は大きいですね」。

ウォシュレットに、女性専用の休憩室進む”女性にやさしい”職場づくり

「わからないことは、全部教えてくれるんです」。徳永さんは中島さん。仕事だけでなく、昼休みや仕事終わりにもよく談笑し合う仲だそうですで、まるで姉妹のよう。長くこの業界で働く2人は、造船所の“ある変化”を目の当たりにしてきました。

女性が働きやすい環境づくりが、今どんどん進んでいるというのです。「私が働き始めた頃と比べると、もう全然違いますよ」(徳永さん)、「トイレはウォシュレットですし、女性専用の休憩所ができたのも大きいですね。ガスコンロや冷蔵庫、レンジもあって、ゆっくりくつろげるんです」(中島さん)。未経験で入社しても、豊富なこの2人がいれば安心です。「来てくれたなら大歓迎。しっかりサポートしますよ」(徳永さん)。



右上に見えるのが、木村さんが乗っているクレーン操縦室。工場全体を見渡しながら、細心の注意を払って巨大な鉄板などを吊り上げ、運んでいる。



「男性が多いため逆に気をつかうことがなく、楽しく働いています。」

「社長がチャンスを与えてくれたので、その期待に応えたかったんです」。三矢工業の木村さんは、女性では珍しいクレーン運転士。免許が必要な特殊な仕事の一つです。当初は鉄板曲げ加工とクレーンの運転を担当していましたが、2つの仕事を体力が追いつかず、退社を考えるようになつたそう。そんなとき、社長が「クレーン一本に絞ってやってみるか」と

背中を押してくれました。力仕事では男性にかなわない事故につながりかねない責任重大な仕事です。いい緊張感がありますね。下にいる作業員とビタリ息を合わせて、一つ終えます。今日はクレーンを動かしています。

室内はエアコン完備で快適なんですよ！



三矢工業株式会社
木村紀美代さん(40代)

長洲町ってどんなところ？

海と田園風景が広がる豊かな自然と造船やサッシ工場が共存する小さなまち。人口は約16,000人。あさりや海苔の養殖とミニトマトといった農水産物の生産が盛んです。また、金魚の产地としても有名です。今回取材したジャパンマリンユナイテッド(株)の有明事業所はこのまちにあります。

車 博多から約1時間30分 / 熊本市から約1時間

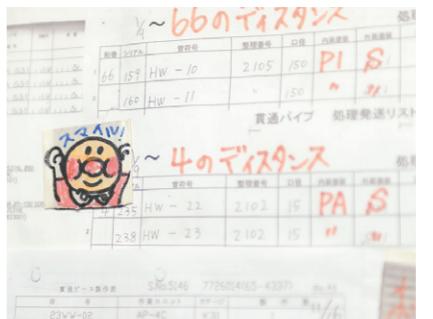


Nagasu-cho
Tamana-city

長洲町は金魚の名産地!!
約300kgもある金魚みこしを担いで
タイムを競うレースは圧巻!!

年齢は関係ない。
資格を活かして、
活躍する場を

「実は昔、マンガ家を目指してたんです」。そう笑顔で話す河野さんは、アンマンやドラえもん、くまモンなどのイラストを掲示板に貼るなどして、職場の明るい雰囲気を和ませている



自作のイラストを貼って
職場を和ませてます♪

日本冷熱工業株式会社
河野公子さん(60代)



60歳を過ぎても、「まだバリバリ働きたい」とスキルアップに意欲的。

女性。仕事の面でも、工場にある無数の部材をきれいに仕分けたり、運んだり。クレーンやフォークリフトも使いこなして、縦横無尽に駆け回っています。これまでいろんな仕事を経験し、中には「職場でいじめに遭ったことも…」とつらい過去もあったそう。でも、「ここはみんな嫌な顔一つせずにやさしく教えて

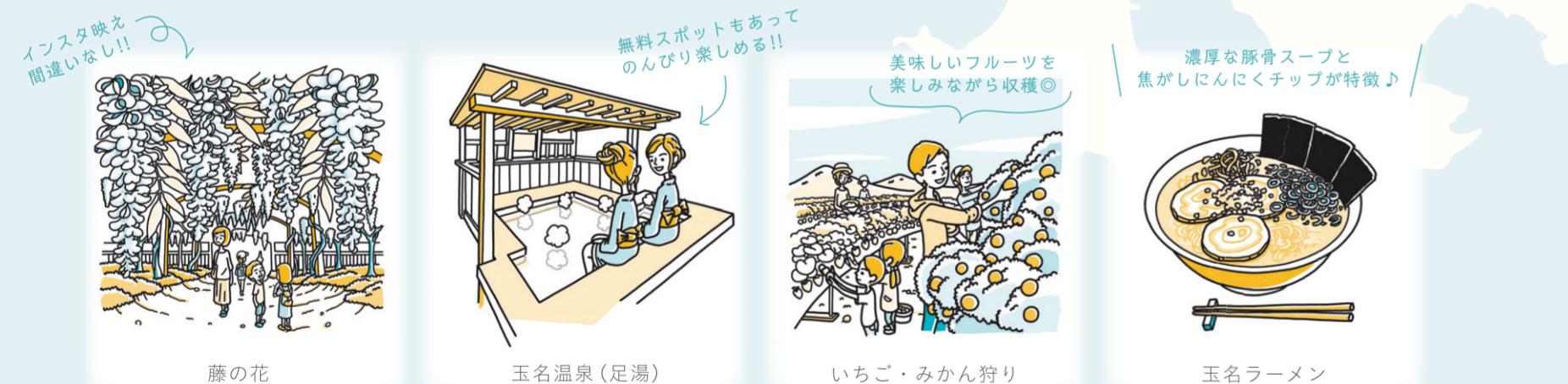
くれて、どても働きやすくて、人間関係はやっぱり大事ですよね」。日々周囲に感謝しながら働いています。社のバーベキューに参加したり、毎夏は出席できなかつた会

玉名市ってどんなところ？

人口は約66,000人の市。熊本県北部の中心的な都市であり、国や県の出先機関も置かれています。また、JR鹿児島本線や九州新幹線が通っているだけでなく、九州自動車道による熊本市や各地域へのアクセスも良好です。2019年放送の大河ドラマ「いだてん」の主人公の一人、金栗四三ゆかりの地でもあります。

車 博多から約1時間15分
熊本市から約45分

電車 博多駅から約40分
熊本駅から約10分



INTERVIEW

協力会トップに聞く、“女性にやさしい”職場の今

女性だけのチーム・班をつくるのもおもしろい

私は約13年前、36歳のときに社長になりました。女性専用の休憩室など、女性だけでリラックスしてもらえるような場所をつくり、昔に比べれば最低限の環境は揃えられるようになりました。でも、まだまだこれからです。どんな世界なのか、不安を抱えている人に「気軽に働ける場所だよ」と自信を持ってアピールできるようにしていきたいですね。少しづつでも女性を増やして、造船業界のイメージを明るく変えていきたいと思います。

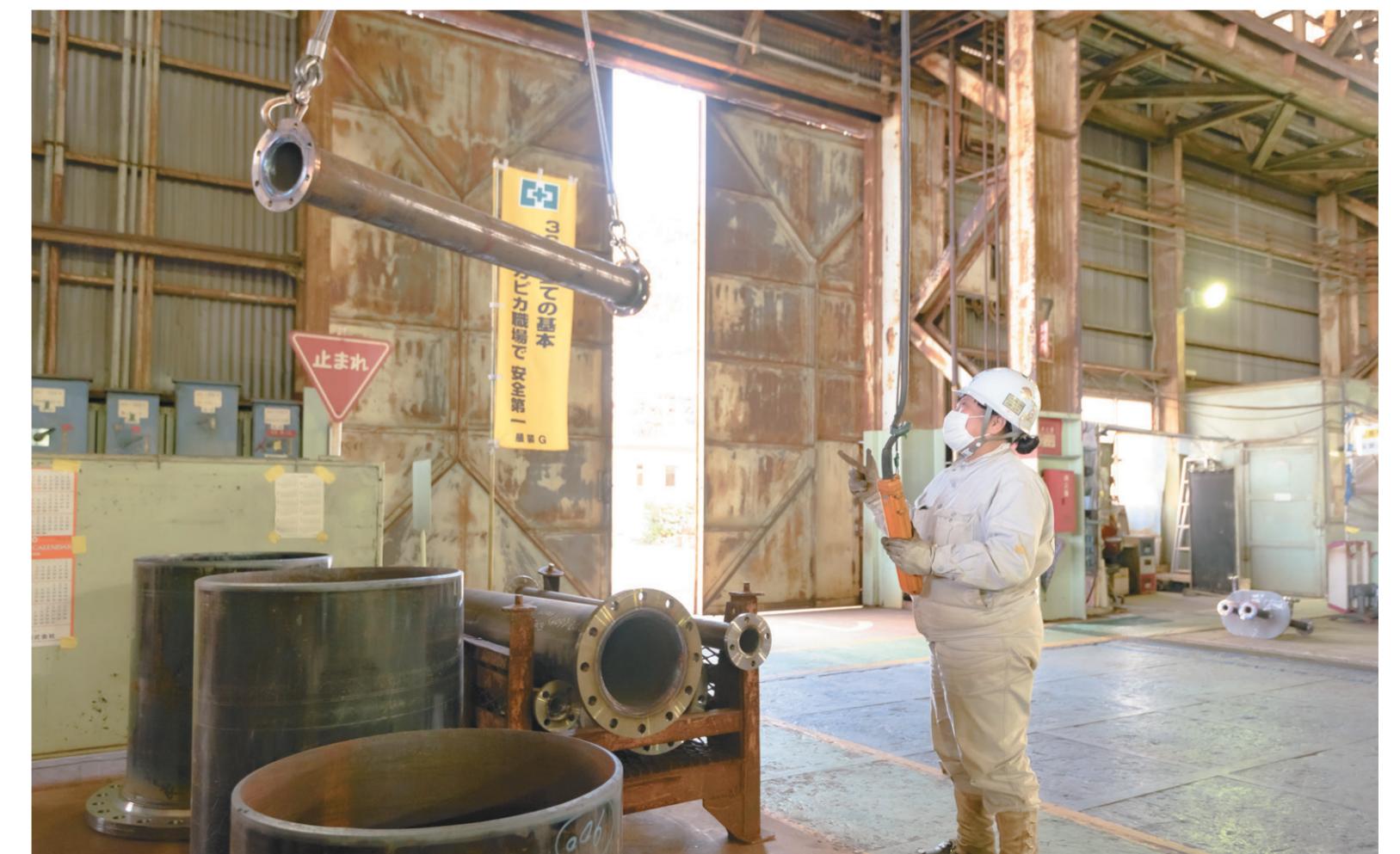
女性には、男性にはないセンスがあります。例えば、手先の器用さです。特に溶接は、女性の長所を活かせる仕事だと思います。うちでも、溶接が得意な子を育ててみたい。女性だけのチームや班をつくって、男性と切磋琢磨して成長できるような環境をつくってもおもしろそうですね。

造船業界を明るいイメージに変えていきたい

私は約13年前、36歳のときに社長になりました。女性専用の休憩室など、女性だけでリラックスしてもらえるような場所をつくり、昔に比べれば最低限の環境は揃えられるようになりました。でも、まだまだこれからです。どんな世界なのか、不安を抱えている人に「気軽に働ける場所だよ」と自信を持ってアピールできるようにしていきたいですね。少しづつでも女性を増やして、造船業界のイメージを明るく変えていきたいと思います。



INTERVIEWEE
三矢工業株式会社 代表取締役
ジャパンマリンユナイテッド有明協力会 会長
上村 司さん



クレーンを操作することもできる河野さん。フォークリフトの免許も取得するなど、資格を活かして活躍しています。



日本造船協力事業者団体連合会事務局や
各造船業の説明会・イベントで配布中♪

ご協力いただいた企業様

長崎船舶装備株式会社	長崎市西琴平町1-5	TEL 095-824-4411	https://www.nssjpn.co.jp
有限会社日電	西海市大島町馬込1605-1	TEL 0959-34-4054	
株式会社日本冷熱	長崎市元船町14-10	TEL 0972-28-3316	http://www.nippon-reinetsu.co.jp
有限会社浜岡船舶工業	西海市大島町1918-13	TEL 0959-34-2860	
株式会社スウォル	玉名郡長洲町大字有明1	TEL 0968-78-5007	
有限会社中尾工業	玉名郡長洲町大字有明1	TEL 0968-78-6834	
日本冷熱工産株式会社	玉名郡長洲町大字有明1	TEL 0968-78-5593	http://www.jtsins.co.jp
花谷建設株式会社	玉名郡長洲町大字有明1	TEL 0968-78-2596	http://www.hanatani.co.jp
マルサン船舶工業株式会社	玉名郡長洲町大字有明1	TEL 0968-78-1999	http://marusank.co.jp
三矢工業株式会社	玉名郡長洲町大字有明1	TEL 0968-78-1110	

